

平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	4. 衛生費	大事業	4. 母子保健推進事業
項	1. 保健衛生費	中事業	
目	2. 保健衛生費	担当所属	健康増進課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
経常	単独	計画	0	0	7,321	実施計画	第1章	-	
							「思いやりと希望にみちたまちづくり」～保健・福祉の充実、子育て・子育て環境の充実～	平成23年度	-
							基本施策3	平成24年度	-
							施策1	平成25年度	-
							妊産・出産・育児の各期に応じ母子の健康保持に必要な支援を行います	平成26年度	-
								平成27年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	200	
本年度当初査定額	200	2,159

財源内訳	県支出金					その他	一般財源
本年度当初要求額	0					200	△200
本年度当初査定額	200					0	1,959

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 母子保健に関する健康教育、健康相談、訪問指導、発達支援などを実施します。</p>	<p>(事業の目的) 地域の実情に応じた各種母子保健事業を効果的・効率的に実施することにより、健やかに子どもを生み育てるための環境を整備します。</p>	<p>(事業の効果) 安心して子どもを生み、健やかに育てる体制を整えます。時代の変遷とともに変化する子育ての問題を的確に捉え、保護者の育児不安の軽減と、子どもの心身の安らかな成長を支える育児環境を整備します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 赤ちゃん訪問協力員の高齢化に伴い、健康問題や家庭の事情により辞任される方が発生しています。こんにちは赤ちゃん訪問協力員の増員に向け養成すると共に、資質の向上に努めます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 平成25年度に赤ちゃん訪問協力員養成講座を開催し、6名の増員を図りました。</p>	<p>(見積についての特記事項) 生後4ヶ月までの全戸訪問事業から要支援となる者は、「保護者の不安・負担」によるものが最も多く、更に保護者自身の体調・疾患等により支援を必要とするケースが増加しています。養育環境によっては虐待に発展するものもあり、早期支援の重要性が高まっています。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	540	540	0
08	130	150	△20
09	151	149	2
11	897	931	△34
12	115	112	3
14	24	0	24
18	229	0	229
19	73	73	0

節	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	14	02	03	01	96	00	子育て支援交付金	0	0	2,580	△2,580
	15	02	03	01	05	00	安心こども基金事業費補助金	200	200	0	200
差引一般財源								△200	1,959	△2,580	4,539